

第3種 臼尻漁港 (北海道函館市)

うすじり

臼尻地区特定漁港漁場整備事業計画

渡島東部圏域
流通拠点



函館(臼尻)地域マリンビジョン策定(推進地域)

現状と課題

- ・都市消費地への水産物供給基地として、衛生管理の高度化が急務であるとともに、冬期の劣悪な作業環境の改善が必要である。
- ・道路が狭隘であるため、輸送効率が低下するとともに、大型車両と歩行者等の接触事故が懸念されるなど安全確保が課題である。
- ・漁業関係車両の駐車場や漁具の保管等に必要用地が不足しており、作業効率が低下している。

港勢 (H28港勢調査)

登録漁船: 202隻
利用漁船: 267隻
(内、外来漁船: 71隻)
属地陸揚量: 4,904トン
属地陸揚金額: 13.0億円
主な魚種: コンブ類、ブリ類
組合員数: 149人

◎臼尻漁港の役割

- ・道内外のイカ釣り漁業、定置網漁業、スケトウダラ刺網漁業等の沿岸漁業及びコンブ養殖漁業の流通拠点

主要対策



主な整備方針

- ・陸揚げ・荷さばき作業時に水産物を鳥糞や埃、直射日光から防護し、地域の取組と連携した衛生管理対策の強化を図るとともに、冬期の就労環境の改善に資する屋根付き岸壁や人工地盤の整備を行う。
- ・衛生管理された水産物を消費地へ効率的に流通させるとともに、地域住民の交通安全や緊急時における避難路の確保を図るため、臨港道路の整備を行う。
- ・漁港内の用地不足を解消し、水産物の流通効率向上を図るため、人工地盤の整備を行う。

基本事項

全体事業費: 48.3億円
事業期間: H14~R7

主要な対策①: 衛生管理対策・就労環境改善

異物混入の懸念
漁獲物凍結による品質低下



人工地盤下での荷捌き状況

主要な対策②: 水産物輸送の効率化



狭隘な道路の大型車通行状況



臨港道路完成イメージ